

保田遊水地工事ニュース

大和川保田遊水地内水取込樋門築造他工事【(株)森下組】


 進捗と今後の工事予定 

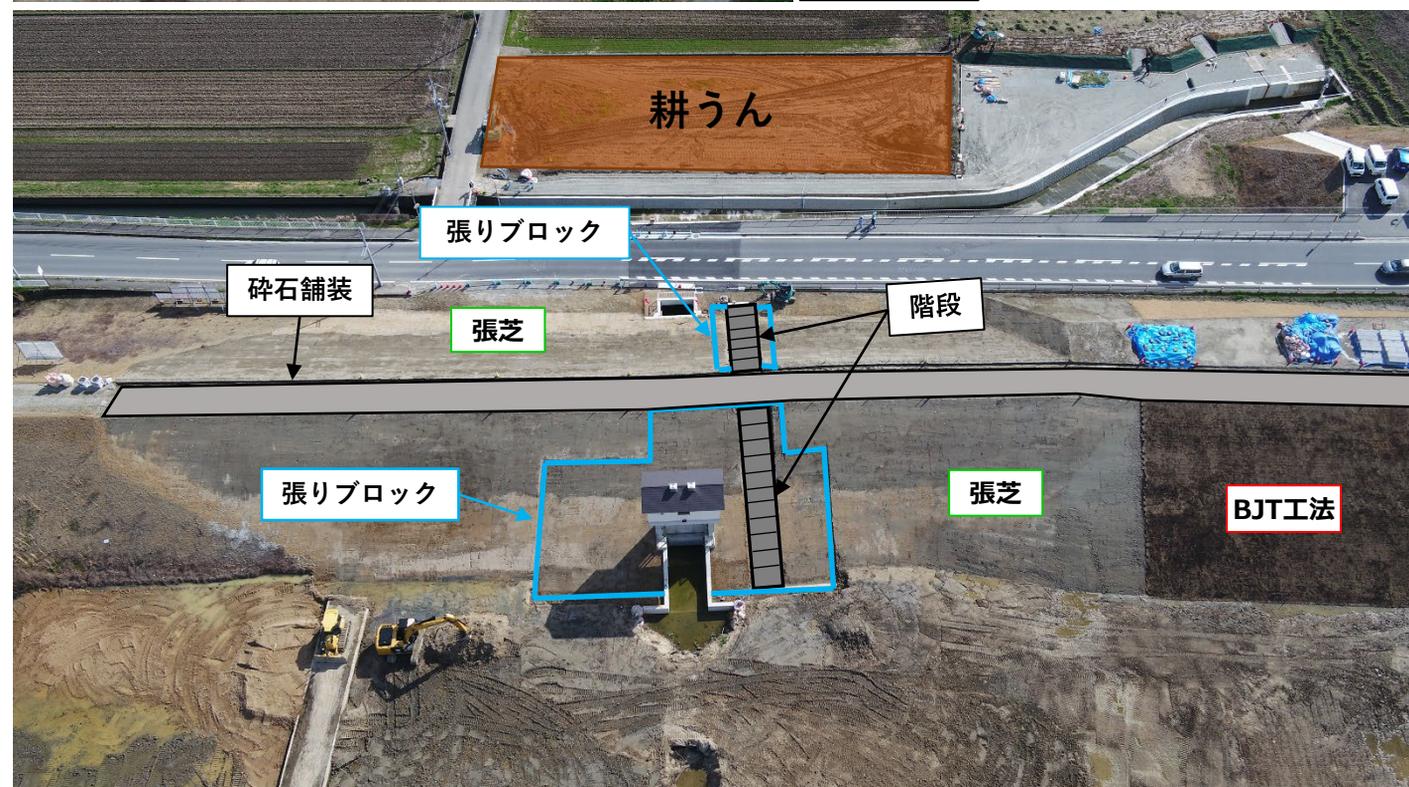
令和6年3月完了

- ・2月22日に築堤が完了し、26日に出来形の3次元測量を行いました。
- ・3月1日に完成した築堤の法面への張芝が完了しました。
- ・法覆護岸、付属物設置工では、階段・張りブロックの施工を行い、3月21日に完了しました。
- ・機能復旧工では畦畔盛土及び法面保護工を行い、残りの耕うん作業も3月21日に完了しました。



2月22日に築堤が完成しました。三次元測量にて盛土形状の出来形確認を行い、完成した築堤の法面への張芝も3月21日に全て完了しました。一部黒っぽく見えている箇所がBJT工法（前回掲載）による施工部になります。

2月27日撮影



 築堤完了後、道路天端に碎石舗装を行い、階段設置後、張りブロックの施工が3月21日に完了しました。

(株)森下組ホームページにて随時工事レポートを掲載しています。最新版を2024年3月22日に更新しました。右記QRコードを読み取るとスマートフォンからご覧いただけます♪



令和6年4月以降も継続

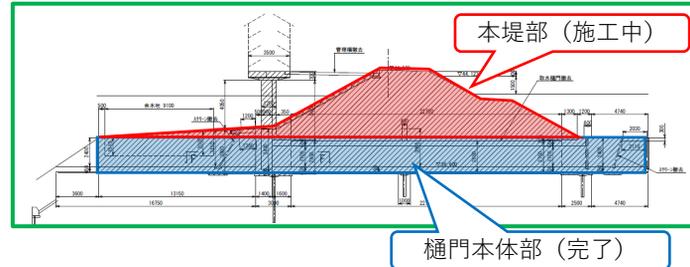
現在の施工状況

- 2月27日に曾我川取水樋門の樋門構造物の撤去・掘削が完了しました。
- 撤去が完了した範囲から順に堤防の復旧工事を行っています。
- 2月29日に樋門本体部の盛土工事が完了し、現在本堤部の盛土工事を行っています。

3月15日撮影



堤防断面図



3次元モデル(CIM)について

CIMとは、設計図面を3次元データに置き換えたものです。これにより完成形のイメージがしやすく、生産性や品質の向上につながります。

10月号にて棚田式魚道のCIMを掲載しました。今回は左図の通り、曾我川樋門撤去工のCIMを公開いたします！
また、3次元測量にて取得した現況データに3次元モデルを重ねることでよりイメージがしやすくなっています。

春が近づいてきました

工事現場付近の堤防にて土筆(つくし)が生えていました！
例年なら3月ごろから見られる土筆ですが、今年はや暖冬だったこともあってか、一足早く2月に見ることができました。



↑現場内で見つけた土筆(2月下旬頃撮影)

今後の予定

- 引き続き、堤防復旧に向けて本堤部の盛土及び護岸ブロックの敷設作業を行います。

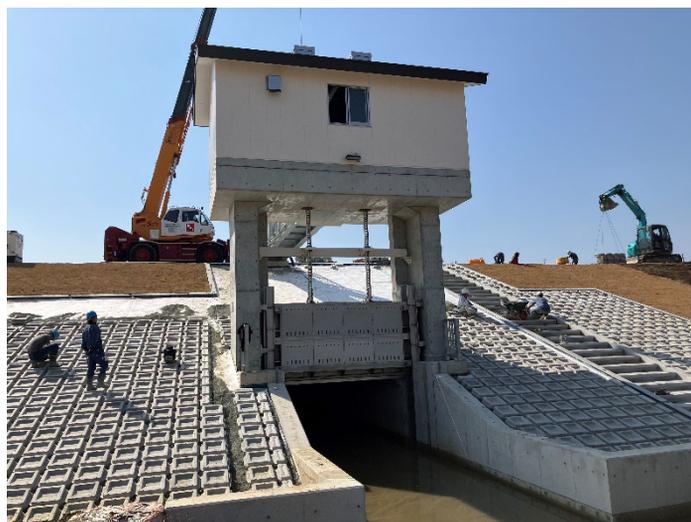
令和6年3月完了

保田遊水地内水取込樋門完成

堤防と操作室を繋ぐ管理橋の据付と、室内の開閉装置の電気配線工事を行った後、3月15日、発電機を用いて実際にゲート開閉の試運転調整を行いました。

3月はわずかな工事期間でしたが、無事故で工事を完了することができました。

管理橋設置状況



ローラゲート設置状況



ラック式開閉装置設置状況

曽我川浄化施設とは・・・

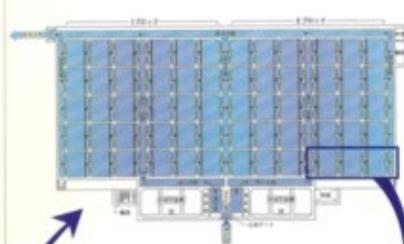
平成12年に完成した接触材に新しい素材を用いた画期的なシステムで効率的な浄化に取り組んでいました。
三段階によるろ過方法で1日平均26万トンの水を浄化し、全国で最大級の処理水量を誇っていました。



曽我川浄化施設の仕組み

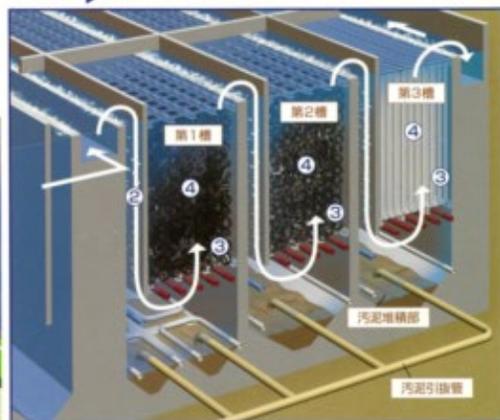
① 曽我川に設けた可動堰（ゴム堰）から河川水を取水し、浄化施設内へ導きます

② 施設内に流入した水は一旦、下向きに流し、比重の大きい汚染物質を槽内底部に沈下させます。



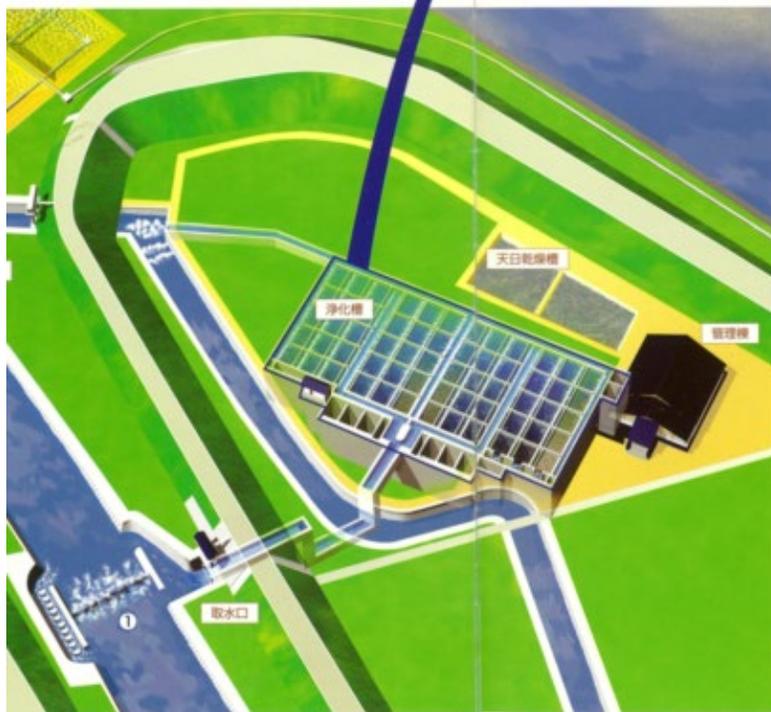
③ 接触材に対し、下から上に水を流すことで、汚染物質や汚泥の目詰まりを防ぎます。

■ 3種類のプラスチック製人工接触材を使用



④ 第1、2槽ではろ過機能も併せ持つ、「球状」の接触材を第3槽では溶解性BODを除去するために、さらに表面積の多い「ひも状」の接触材を使用しています。

⑤ 浄化された水は放流口から元の曽我川に放流します。



当施設は一定の水質改善が図られたため、今年度除去しました。

【問い合わせ先】

(注意) 記載内容は、今後変更することがあります。

● 事業計画に関すること 大和川河川事務所 工務課
〒582-0009 大阪府柏原市大正2丁目10番8号
TEL / 072-971-1381 (代)

● 工事・現場に関すること 大和川河川事務所 王寺出張所
〒636-0002 奈良県北葛城郡王寺町王寺1-13-8
TEL / 0745-73-6571